
オールロワイヤル

ハ石マムミラー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オールロワイヤル

【Zコード】

Z7884F

【作者名】

八石マムミラー

【あらすじ】

ある日、涼宮ユウヒは全世界から数々の情報を集め、沢山のキャラクター達を一つの会場へと固めた。その人達を沢山殺し、世界を救う究極の兵器を完成する為の生贊にするべく、バトルロワイヤルを開始した。

プロローグ（前書き）

この小説は平氣に人が死にます。
それに血が出たりともグロい小説になる可能性が高いです。
人殺しを専門にする人だって存在します。

プロローグ

アタシは目覚めた・・・・・・

知らない場所にいた

あたしを見渡すとかかみん 二かき みゆきさん ひよりん みさ
きちょうど学校の友達も全員いた。
でも、何かおかしい。

何故、こんなに暗い場所、見たことが無い場所。

コウヒイチ ようこそ、僕たちのバトルワールドへ

一人の少年が現れた。

黒い「エバード」を被っていた。明るいかに怪しげ感じた。

「こなた・アタシたちをどうするの?」

アタシやその他の人はあの少年へと聞いた。

「お前達にせ殺し合ひをしても、アリ……」

殺し合いだつて！？

柿崎「なつとく出来るかあ――――――――――――」

一人のゴリラっぽい男があの少年へ向かつて攻撃を放とうとした。さすがにこういう口ワではこういうように襲う人もいて欲しい所だ

もんね。

「うう、おれがおれの細かい事だ……。」

ゴリラ男の首輪が点滅した。

一瞬のうちにコリテ男はオレンジ色の水濡りのような状態になつた。人の形を失つたというわけ。

ユウヒ「人はだれしもA・T・ファイールドを持っている。それがなくなればヒトの形を保てず生命のスープ（オレンジ色の液体）となってしまう……」

アタシの隣にいたつかさは震えだした……

ユウヒ「ククク…、那遊ちゃんを実験台として殺してみますね！」

あの少年は那遊ちゃんと呼ばれたピンク色のツインテールの女の子に包丁で貫いた。

ユウヒ「いい忘れていたけど、僕の名は涼宮^{すずみや}ユウヒだ。ハルヒと同じ涼宮と言う苗字だ!!!」

こなた「ハルヒに似ている名前じやんWW」

ユウヒ「」の殺し合いで生き残った人1人は元の世界に戻してやる。それに願いを1つだけ叶えてやる。（ククク、ソレスタイルビーイングを倒す為なら誰でも生贊にしてやる……）

ユウヒの最終目的はソレスター・バーイングを倒す為の最強ロボット

を完成させるために大量の人を生贊にする事である。
そのために、このバトルロワイヤルを開催する事に決意したのである。

ユウヒ「最後に全員に支給品をあげよつ…無限に物に入る”ティバツク”だ。必要最小限の物に1つ～3つランダムで武器などが入ったランダムアイテムだ。

ランダムアイテムに強い武器とか回復アイテムなどがあつたらいいけど、なくても頑張つてほしい。では、お前ら全員を転送する」

参加者達はその後、巨大な闇に包まれ、そして光となつた。
参加者達はばらばらに飛び散つていつた。

バトルロワイヤル、開始！！！！！！！！！！

【柿崎速雄@超時空要塞マクロス　死亡】
【燈火那遊@オリジナルキャラ　死亡】

プロローグ（後書き）

出来るだけ、パーティなどは少なく、オリジナルに作っておきます。

小さなオタク少女達

ここは草が生い茂つてゐる平地。草原。
ここに横たわつてゐる女の子。青いロングヘアに癖毛、
眼は眠そうに半分だけ開いていてエメラルド色。
かなりの美人な所もあり、泣きボクロもあつた

洋服は薄めの赤色のセーラー服であつたが、背の高さは小学生並だ
つた。

こなた「あつ」

アタシは泉こなた。主催者の生贊と並ぶ形でこのロワイヤルに参加
させられてしまつた。

涼宮ユウヒとか言つ人の所為でこんな所に来てしまつた。

アタシは普通の女子高生。スポーツ万能だが、嫌い。
かなりのオタクだが、どんなゲームをやつていたか、どんなアニメ
を見ていたかは曖昧。

ギャルゲーやエロゲーを見ていたことは確かだけど……

こなた「支給品は何だらうな」

アタシは支給品を開けてみた。

その中には3つの草が入つてゐた。草にセロハンテープがついてい
る紙があつた。

草の名前はメダパニ草と呼ばれているもの、ラリホー草と呼ばれて
いる物、そして田つぶし草だつた。

こなた「草ばっかりじゃん、意味わからないしー」

メダパニとかラリホーとかの意味は全く分からぬ。
目つぶし草は恐らく相手の目を見えなくする。時間的にみてずっと
失明させるのか5分程の効果かはわからない。
だが、強敵が出現して襲つてきたら、使ってみる価値はありそうだ。.

アタシが探索していると一人の女の子がいた。

金髪のツインテールにツリ目。恐らくシンデレ少女だと思われる。
わりにアタシよりも背が低い。小学生の可能性が高いと思われる

アタシはその女の子に近づいた

ナギ「お、お主は誰なのだ？」

その女の子は話しかけた。

こなた「アタシは泉こなた。あなたは誰ですか？」

アタシがあの女の子に名前を言つと、
すんなりと話してくれた。

ナギ「私は三千院家の三千院ナギだ。こいつ見えても13歳だぞ」

この女の子も年齢の癖に小さいのか、アタシと一緒にいるわけだね
え。

どんな女の子だろ？...

こなた「アタシは18歳のオタクだけど、ナギちゃんつて何処の中
学生なの？」

アタシはナギにオタクと言つのを話した。

ゲーム好きな事、アニメ好きな事なども話した

ナギ「私もゲーム、アニメ大好きなのだ。お主、気が合つた。よし、私の部下にしてやろう」

三千院ナギはかなりのお金持ちであり、性格も素直になれない。仲間になりたいのをそんな言葉にしたようだ。

アタシはナギを仲間にいれ、主催者を倒すために進んでゆく

【泉こなた@らき すた】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、ラリホー草、メダパニ草、目つぶし草

「思考」

主催者を絶対に倒す。

- 1・主催者を倒すために努力する
- 2・死にたくない
- 3・ナギを守る

【三千院ナギ@ハヤテの「とくー」】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、不明支給品1～3

「思考」：

- 1・こなたについてゆく
- 2・ハヤテ、マリアなどを探す

かがみん▽Sカイン 龍騎士の戦い（前書き）

今回はFF4の龍騎士が登場します。
かがみんもFF4の龍騎士っぽい戦法でいぐらしきです。
お楽しみに。

かがみん▽Sカイン 竜騎士の戦い

私の名前は柊かがみ。35年間ずっと生きていた人間。

友達達はみんな、私よりも成長して大人になつていくが、私は高校生の体格のまま。

知能はその時以上にあがり、戦闘力もあがつたが、私のある力の所為で不幸になつてゆく

恐らく、ゾンデレのジンクスに生活中にはまり続けた事だろう。

私は何回死んだことか…

おかげで復活スピードもどんどん遅くなつていき、

安静にしていて10分ぐらいは復活まで時間がかかるだろう…

柊かがみ「主催者か…私は願いをかなえる、その為ならどんな事もしてやる」

私の願い、それは、この体。不死者から解放され、普通の人間になる事。

私は不死者。年もとらない。首を切斷されない限り死ぬ事は無い。

私は手に血を染めようとも、構わない。普通の人間になれるならば…

それと私は無敵といつても天敵はいる。

アイザック・ディアン、ミリア・ハーヴェント、ラッド・ルツソ、
チエスワフ・メイエルなど。

その他にも何人かは不死者がいるかもしがれない。しかし私の知つて
いる不死者はその4人。

不死者相手には下手したら私は一撃で殺される。

柊かがみ「まずは支給品を調べておくつ」

私は支給品を調べる。使える物があるかどうか、戦闘を有利に進めるため

1つ目はランスだった。槍であり、攻撃力はどれほどのか、わからない。だが、武器が手に入る事は運が良いのかも知れない。2つ目は防弾チョッキ。まあまあのアイテム。装備しておけば防御力はあがる。

ランダム支給品1つ～3つだが、私へのランダム支給品は2つだった。

3つではなかつたけど、一つじやなかつたのはよかつたと思つ。

私は歩いていると一人の男に気配を氣付かれた。

カイン「少女だなつ！」

そこにいたのは一人の竜騎士。

私は竜騎士の戦い方で戦おうと思つたけど、相手も竜騎士。相手を屈服させてあげましょう…

柊かがみ「私は華麗な竜騎士様。あんたは誰？」

カイン「オレはカイン、カイン・ハイウインド！」

相手はカインと名乗つた。私は知つている。

ファイナルファンタジーシリーズをやつた事があるから

戦闘の仕方は恐らく、私の竜騎士スタイルと同じ竜騎士の戦い方。

槍を武器とし、ジャンプで戦う戦士型ジョブのはず…

カイン「必殺！…『稻妻突き』」

カインは槍に電撃の力を集め、
そして槍で攻撃を放つ。

私はその攻撃を喰らってしまった。
そして倒れた。

カイン「ただの雑魚だつたか…」

約10分がたつた…

柊かがみ「私はまだ、死んでないっ！…！」

柊かがみが何故か、復活し、『デミルーンを放つた。

それは不死者の力である、衰えたとはいえ、不死者は死んでも蘇る
のだ。

『デミルーンは柊かがみの必殺技の1つ。本来三日月刀で放つ技だが、
柊かがみは熟練し、他の武器でも放つことが出来るようになった。
『デミルーンの進化系の技は三日月刀などでしか扱えないが

柊かがみ「カイン、あんたはしもべになつてもらうわよ…」

カイン「はいっ、わかりました」

カインは柊かがみのしもべとなつた。

柊かがみはとても強く、特に厄介なものかもしない…

カインの運命はいかに…

【終かがみ@らき すた】

「状態」：不死者、健康

「装備」：ランス（槍）、防弾チョッキ

「道具」：

「思考・状況」

基本的思考：対主催者側。マーダーは醜いものだと思うのではならないようにする

- 1・カインを手下にして自分を除く不死者を全滅させる
- 2・主催者を倒し、自分を普通の人間にする
- 3・人は極力殺さない。殺そうとする奴が居たら出来るだけ守る

【カイン@FF4】

「状態」：浅めの怪我

「装備」：槍（種類は不明）

「道具」：ランダム支給品0～2

「思考・状況」

かがみの捕虜、かがみについていくしかないだろう

日渡星司に襲う者共

せいじ「カメさんがないつ」

僕は星司。日渡星司。星司はせいじと読む
僕は何故か、このバトルロワイアルに来てしました。
主催者の涼宮ユウヒの所為で来てしました

僕の支給品は1つだけだった。拡声器である
どうしても死にそうな時に助けてもらう為にのみ使う

何故かは、これを使つ=マーダーに襲われるといつてもいいから

僕は歩いていた

力カロット「獲物だな…」

こいつは力カロット。姿かたちは心優しき格闘家の孫悟空なのだが、
性格は違う。

冷酷で戦闘種族で人を平氣で殺すような奴だ
力カロット以外にもせいじの近くに居たものが居た……
そいつらも邪悪な氣を放つてゐるようだ。

九尾ナルト「わしが殺す、ギャハハハハ

こいつは九尾により、意思を奪われたナルト。
無尽蔵なチャクラ量を持っており、その能力は力カロットと同じか
それ以上なのかもしない。

幽助「殺す！」

「いっは取り付かれた、裏人格の男。
人を殺すマーダーの一人

護一崎黒「いいもの見つけたぜえ、オレが殺してやる」

「いっは白い髪に白い肌。一護の裏人格である。

日渡星司はその4人に目を付けられてしまったのだ…

その後は言つまでも無い…

ぎやああああああああああああああああああああああああ
あああああああああ
と拡声器の音が鳴り響いた…

【日渡星司@きらりんレボリューション】死亡

4人のスタンスは不明。

「じべにを襲う少女

私はじべに。花咲じべに。
このバトルロワイヤルに参加させられたのです。
私は占いしかできないのに…

じべに「でも、支給品を見ればいいものがあるかもっ！」

私は支給品を見たのです。
アララララ。一つはまんじゅう。アミシットさんが作った物らしい
のです。
ほのかに海のにおいがします。

二つ目はせいなるナイフ。多少の攻撃力を得られる。
力が弱い人にも使える万能な武器。

こべに「せいなるナイフ、かなり良い武器かもです」

三つ目は雲固めガス。雲を固めて乗れるようになる物。
くもを探さなきゃ効果が無い。かなり活用する物とはいえないのです。
でも、大活躍するかもです。

私が歩いていると、一人の少女の影が見えた。
髪型はきらりちゃんに似ている。

こべに「あそここいるの、きらりちゃん？」

私はそう言った。

そして少しすつぬづこでゅー…

魔河「あれは……アイドルっぽい女の子ー?」

影古魔河は言つた。

影古魔河は悪のアイドル。影の世界に生きる者であり、悪い人間だ。特に円島きらつのことを見んでいる。

こべに「せひはひへへ、じつみともあひらうやんみたこです」

こべにの声が少し大きく、影古魔河にも聞こえたようだ…

魔河「お…俺を円島きらつに間違えると言ひ事は死んでもひつと言ひ事…『シャドウ・スパイラル』」

影古魔河はこべの影に入り込んだ。

そしてそのこべの影へ何回も連續で切りつけてゆく…

この技で影に攻撃した場合、その影を持つ人間にも同じダメージが影響するのだ。

こべにこべにはかなりの傷を負う状況。

こべに「何故か、傷を負つて凄く痛いです。何故ですか?」

こべには痛がつていた。

こべに「このアーティストまんじゅうを食べると少し傷が治るみたいです。食べます!」

私はまんじゅうを食べた。

ほのかな海の香りと癒しの力が体に入り込んでゆく……

でもその癒しの力よりも何故か負う傷が多いのです。

こべに「も……もうダメです……」

こべには倒れてしまった。

魔河はこべにの影から脱出した。

魔河「コイツの持ち物は……聖なるナイフと言うものか……この程度の武器。俺にはいらない……だが、食べ物はもらつておく……」

魔河はこべにの支給品の武器は奪わなかつた。でも食料は奪つておいた。

食料があるにこした事はない。

さらに相手が餓死して倒れる可能性があがるからだ……

だが、魔河は恐らく、こべにを殺したと思い込んでいた……

* * *

一人の少女が近くに歩いていた。

その名前はのえる。Milky Wayのメンバーの一人。

のえる「この近くで何か、戦闘が起きたかもな！」

のえるは状況を考えていた……

その予想が当たるのであつた。

【花咲こべに@きらりん レボリューション】

「状態」：瀕死の状態。気絶

「装備」：聖なるナイフ

「道具」：デイバック、支給品一式（食料はなし）、雲固めガス@ドリーム

「思考」：

1 ·? ·? ·?

【影古魔河@オリジナルキャラクター】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、不明支給品1～3、こべにの

食料

「思考」：

- 1 ·月島きらり、その仲間を抹殺する
- 2 ·主催者を殺し、願いをかなえる
- 3 ·その他的人は利用する。出来なければ殺す！

【雪野のえる@きらりん レボリューション】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、不明支給品1～3

「思考」：

- 1 ·近くで戦闘があつた。その場所に行くかどうか
- 2 ·友達が心配。

- 3 ·戦いには巻き込まれないようにする

結城コトの冒険

あたしは結城梨斗^{ゆうきりと}。実は女の子なの。

姿からしてひ弱な男の子っぽく見えるけど女の子。

髪はオレンジ色のショートヘア。服装は私立彩南高の服とスカート。

あたしは女の子だからスカートを履いている。

でも、あたしは・・・

西連寺春菜^{さいれんじはるな}と呼ばれる女の子が好きなんだつーーー！

リト「バトルロワイヤルか、まずは春菜ちゃんを探さないと...」

リトは支給品を見た。

1つ目はロケット。この道具は女の子のおっぱいを大きくする効果を持つ。

男の子には効果が無いが、あたしには効果は有る。だつて女の子だもん

2つ目はボミオスの杖とかかれている得体の知れない杖。相手のスピードを遅く出来ますと書かれていた。

もう一つは重要でないアイテムだつた。

あたしは早速探索した。

すると春菜ちゃんが近くにいた。

リト「ー?」

春菜「リリは何処だらう?」

春菜ちゃんはそわそわしていた。
それもそうだらう… 何処か知らない所。殺し合ひをしなければいけない。

そんな状況で安心できるわけがないだらう…

あたしは春菜ちゃんの所に駆け寄った。

春菜「誰…」

春菜ちゃんは誰かが来るのを見て、武器を向ける。
そしてあたしが春菜ちゃんに姿を見せた。

春菜「リ、リトくん…」

リト「春菜ちゃん。そうだよ…」

春菜「でも、スカートをはいてる。何故?」

春菜ちゃんへ、叫びしよう。

あたしがずっと、春菜ちゃんの事が好きだったことを…

リト「春菜ちゃん… あたし……ずっと、春菜ちゃんの事が、す…
す…スカートはいてる理由は実はあたし、女の子だったから…」

あたしは思わず、好きだったとは言えなかつた。
でも、あたしが実は女の子だと言つた事は春菜ちゃんへ伝える事が出来た。

【結城梨斗@T.O LOVEn - といづる】

「状態」：一応健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、ロケットくん、ボミオスの杖、不明支給品一つ

「思考」：

- 1・春菜ちゃんに女の子だと告白は出来たが・・・
- 2・春菜ちゃんを絶対に守る

【西連寺春菜@T.O LOVEn - といづる】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、不明支給品1～3

「思考」：

- 1・リト君が女の子？？

不運な男の話

私の名はハクオロ
一人の男だ。

ハクオロ「バトルロワイアルか……私の勝利確率100%!!
何事も成功し続けてきたからな!!!!」

ハクオロは勘違いしていた。
確かに今まで成功してきたと思う。
だが、これはバトルロワイアル。ハクオロが主人公とは限らないからだ。

そこに一人の女の子が歩み寄る……

背は140cmも満たない小さい体。赤いセミロングの髪。
そしてセーラー服。
紛れもなく小学生。

私は女子高校生に殺される夢を見たことがあったが、小学生になら殺されないだろう……
ましてや、この子を守つて行く事が使命なのかもしれない……

ゆたか「おじさん……誰？」

この女の子は恐らく私に話しかけてきたのだろう。
だが、私はまだ、おじさんと言つ年ではない。

ハクオロ「私の名前はハクオロだ」

私はその女の子に名乗った。

その女の子は私をじつと見て、名前を教えてくれた。

ゆたか「私、小早川ゆたか！」

「の子はゆたかちゃんと言つた女の子のようだ。

ハクオロ「私は貴方みたいな子をほつとけないです。守ります！！」

よし、いえた。この子を守つていけば安心だろ？……

ゆたか「貴方は私が弱いと思つて…… だが、貴方はもっと弱いはずだッ！…… 閻黒蒼火隊！……」

ズガソッ！

何故だ！ 私は負けないはずだ。

この一発で私を貫き、その威力は半端無い……

ハクオロ「私は死なない、死なないんだ！……」

ハクオロの言葉もむなしく、ゆたかのトドメの一撃が下された

【ハクオロ@うたわれるもの 死亡】

ゆたか「絶対、私は健康になる。その為には手を血に染めよつとも

……」

【小早川ゆたか@らき すた】

「状態」：健康

「装備」：

「道具」：デイバック、支給品一式、不明支給品1～3

「思考」：

- 1・主催者を倒し、願い（病弱の体から健康な体にする）
- 2・ステルスマーダーとして身を潜める。使えない奴や自分に被害が蒙る場合は倒す

3・私は負けない。どんな手を使つてでも……

恐らく高校2年生。背は140cm未満138cm以上。ややオタク気味かもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7884f/>

オールロワイヤル

2011年11月27日10時00分発行